



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2014年3月のロータリーレイトは1ドル=102円
地区大会は10/4～10/5

例会優り

第735回例会
ホテル日航5F
3/13(木) 19:00
例会出席率 25/36 69.44 %
2月修正出席率 70.83%

点 鐘

ロータリーソング『奉仕の理想』
四つのテスト

会長 挨拶：東日本大震災から3年が経ちましたが、現状は復興、復旧にはまだまだ程遠く感じております。東京電力福島第一原子力発電所事故で帰還の見通しが立たない被災者が多いことに天皇陛下も「心が痛む」と

言っておられました。もっと行政や政府は早く対応をしてほしいものです。
地元でのインタビューで「普通の生活がなによりもの極楽です」と言っていたのがとても印象的でした。我々も普段、普通に暮らしていることをもっと感謝しなければと思った次第です。

それから4月からの消費税増税を前に色々な製品で値上がりの動きが目立ってきました。産業資材では建設資材などに使う樹脂や梱包用ダンボールやコピー用紙、その他紙コップ、インスタントラーメンやヨーグルトの容器など幅広く使われているものすべて5～10%増の予定です。我々の業界も用紙が2月より5～10%値上がりになりました。

飲料関係は8%以上の値上げになる訳で約5%が便乗値上げになります。業種によっては価格転嫁が難しく、より一層の努力が必要になっております

ゲスト紹介

小松東RC 米山奨学生 張 泓明 様
ビジターのご紹介
小松東RC 曾田 孝志 様 金沢RC 白塚 重典 様

クラブ例会予定 2013-2014年度	
3/20	光井一恵 様 (小松サマースクール実行委員会代表)
3/27	山出保 様 (金沢前市長)
4/3	董又碩 様 (能美RC 米山奨学生)
4/10	金沢北RC 合同例会「観桜会」 18:30～ 松魚亭
4/17	今年度委員会事業振り返り 理事役員会
4/24	菊知充 様 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)

2013～14 理事・役員 委員会 ★太字：理事役員

(役員) 会長：野城勲 エルト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子 副幹事：井口千夏
会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明

(理事) クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満
井口千夏 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之 川きみよ
ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智
奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 社会：○谷伊津子
辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子
喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫
炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：永原源八郎 ロータリー財団・米山寄付：
○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 広報委員会委員長：村田祐一 副：江守道子
広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 ロータリー情報：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホーム
ページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 常任理事：石丸幹夫 吉田昭生
理事会オブザーバー・アドバイザー： パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智
長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間
京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00
事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局) 村木早苗
E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/
事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00
休日(土日祝日) 幹事 上杉輝子



皆出席者顕彰 2ヵ年 上杉 輝子 会員

《 食 事 》



幹事・委員会報告

上杉輝子幹事： 例会終了後、5F「松・竹」で理事役員会がありますのでご出席ください。

①炭谷パストガバナーより



3/8(土)に百万石の友好クラブである東京世田谷中央RCが社会奉仕事業として主催した「平家物語」のセミナーに参加してきました。女優の司葉子さんもいらしていて、「2011年のポリオのライトアップは素晴らしかったですね。準備が大変だったでしょう」との言葉をいただきました。また15年前に金沢で「平家物語を語る会」をされた女優の若村麻由美さんもいらしていましたが、本当に美しかったです。講演は駒澤大学の桜井教授でしたが、歌手の「嵐」のメンバー桜井くんのお母様だそうです。また琵琶を演奏された坂田さんは金沢美術工芸大学の漆を教えている教授の妹さんでした。ご縁のある方にもお会いできて大変楽しい会でした。また200名もの大勢の方を集めたセミナーを開催した東京世田谷中央RCの実力にも感心しました。

②北陸大学 金沢先生よりご挨拶



本日下の階で送別会がありまして、稲山さんもお出席されていまして、一言ご挨拶に伺いました。北陸大学の金沢と申します。昨年百万石さんでお世話された米山奨学生の郭 蕓さんの指導をしておりまして。郭さんは金融会計の勉強をしていましてが大変優秀な学生でした。今は東京で就職活動を頑張っているようです。今後も多くの留学生を奨学金の面で支援いただけますようお願いいたします。



③小松RC 松多 伸悟 様

別の会場にいらして会長幹事にご挨拶にみえました。(魏会員の紹介で5月卓話予定)



ニコニコBOX

¥ 7,000- 本年度 ¥ 532,100- 残高 ¥ 5,300,814



小松東RC曾田様：皆さん初めて参りました。本日はよろしくお願ひします。張くんは先日米山の終了式があり、皆様のおかげで終了できました。ありがとうございました。野城会長：張泓明様、ようこそおいでいただきました。本日の卓話よろしくお願ひします。上杉幹事：張様ようこそ。足元の悪い中、いらっしゃいませ。本日はよろしくお願ひします。炭谷会員：チョウさん、今夜はご苦勞様です。藤間会員：張さん、ようこそ。卓話よろしく。上杉さん、二年皆出席おめでとうございませ。

講話の時間

『中国リスクとオポチュニティーフィールドの所見に基づく』

小松東RC 米山奨学生 張 泓明 様



プロフィール

昭和57年7月16日生まれ(31歳)
2007年 中国山西大学 世界史専攻 修了
2008年 来日
2012年4月から 米山奨学生として小松東RCに所属
2014年3月 金沢大学大学院 人間社会環境学 博士課程修了
専攻は 文化人類学
研究関心は 留学、文化理解、日本の中国人社会



講話：私は現在、在日中国人の研究をしています。これまでの研究を通して、日中間の文化や社会の理解に貢献しようと考えています。今回チャイナリスク・アンド・オポチュニティーというテーマを取り上げる理由としては、最近中国をめぐるさまざまなショッキングなニュースが出てきました。一カ国関に起こったことは世界の他国まで影響を及ぼす可能性があり、文化と社会の理解は以前より一層重要となってきました。それでは中国に今、何が起こっていて、どんな問題を抱えているのか、とりわけ中国の人々はどんな問題に関心を持っているのかについて、本当に政治リスクや経済リスクがあるかどうかについて紹介しようと思います。





卓話の構成は三つの部分からなっています。

まず最近流行った中国リスクについて簡単に説明し、中国の政治システムを簡単に振り返ってみます。

その次にフィールド地である山西省の地理、歴史、観光地を簡単に紹介し、省庁所在地太原の変化も紹介します。最後に現在ビジネス・パターンについて紹介してまとめをします。先月、中国のシャドーバンキングの理財商品が大きな話題となりました。理財商品から債権のデフォルト、不履行によって中国経済破綻に繋がる懸念がおきました。話題の「吉林省信託」の融資先は山西省の石炭採掘会社「山西省の聯盛能源集団」です。

理財商品は中国ではすごく一般的な投資商品です。銀行は年利4パーセントから7パーセントの利息をつけて理財商品を発売します。理財商品の収益は民間の高利貸しより低い、元金が銀行に保証されているため、リスクも低い商品です。聯盛能源集団の社長邢利斌は石炭発掘会社の社長です。2007年石炭価格ピークの時膨大な財産を築きましたが、石炭価格の暴落とともに経営が難航し、現在は借金に四苦八苦しています。去年のテロ爆発事件、環境汚染は山西省が巻き込まれています。これら一連の問題は現在、中国典型的な社会問題となっています。これらの問題は本当に中国経済破綻に繋がるリスクと成り得るのでしょうか？ご存じのとおり、1980年代以来の中国は高い経済成長率を続けていました。この10年も2ケタ近くの成長率を保っています。この一連の変化は改革開放政策と1980年代以来の安定した政治システムのお陰だと考えます。1980年代の改革開放は経済建設を中心とした以外に、殆ど建国以来の理念をそのまま続けています。中国政治システムは集団民主制度から、毛沢東のカリスマ政治に変わって、また現代の中国共産党内の民主政治システムに変わってきました。とりわけ1990年代以降は、中国共産党政治委員会常務委員は奇数である7人や9人制度となってきて、重大な議題に対しては投票で決める仕組みとなり、中国共産党内の現代民主主義制度が構築されました。安定した政治システムのお陰で、中国全国に大きな変化を起しました。改革開放政策から、エネルギーの石炭や重工業は一時的に山西省の支柱産業になりましたが、現在は料理や民芸などの観光開発を重視し、重工業だけに頼る経済パターンから転換しました。さらに現在、中央政府が提案した都市化政策にとともに、山西省の省庁所在地太原も急速に発達しました。20年前の太原市は小さかったですが、近年、太原市政府は太原市近辺の開発を強力に進め、高いビルを次々と建て、太原市人口も10年前の三百万から現在の四百万人に増加しました。従来の古い建物を取り壊し、新住宅の建設や家電を通して経済需要を作ることとなりました。太原市政府は2020年までのビジョンとしては、文化保護財以外の古い建物はすべて新しいビルにすると策定しました。都市改造とともに、太原市の不動産価格も値上げ続けています。10年前と比べて、不動産の価格は4倍ほど値上がりしました。不動産の値上がりとともに市の財政は豊かになりました。政府主導のインフラ投資は現在、経済成長のエンジンとなってきました。不動産と賃金の高騰により、従来の経済構造は大きな影響を受けました。製造業やスーパー、売店などの元来のビジネス・パターンの収益が減少しています。製造業や伝統ビジネス・パターンの低迷とともに、e-ビジネス、インターネットを利用してビジネスをする業界が異常に盛んになりました。生活習慣を変えるぐらいのイノベーションはたくさんの方から動いています。インターネットの世界では商品や顧客などの概念を変えるほど深刻な変化が起こっています。世界最大の人口を擁する中国では、インターネットによるビジネス革命が起こっています。これはまさにチャイナダイナミズムの中心だと考えています。インターネットを中心とするイノベーションは、政府にリードされた大規模インフラ投資、観光資源開発と一緒に中国経済の柱となりつつあります。従来の人々が営んでいる生活習慣を変えるぐらい激しいです。経済転換期の現在は古い経営主体の破たん、トラブルが多発し、政府権限に関連する腐敗問題、環境問題はもう是正しなければならない段階となってきています。しかし、一貫した安定政治はしばらくの間オポチュニティがまだあるのではないかと考えています。

1. 現在、中国において訴求を訴える方法に関すること。

改革開放以降、市場経済の導入とともに一般民衆の所属も変わりました。従来、生産、行政、戸籍一貫制である「単位」制度の機能が大きく弱体化されました。その結果、個人の利益が守られない場合は、訴える場所も不明確となってきました。代りに、極端な行動を通して個人訴求を訴える方法が現われました。たとえば、所在地に訴えるのではなく北京の中央政府に訴えます。また訴えが要求どおりにならなかった場合は、極端なやり方で人々の注意を惹きつけます。一般民衆の極端な行動は国家安全への威嚇であると考え、政府は政治法律委員会の設置を通じて対応手段を講じました。政治法律委員会は実際に地検、裁判、公安委員会の仕事を指導する機関です。昨年、新政府の誕生はそれまでの考えを改めて見直し、より柔軟な姿勢を通して民間の訴求を変えようとしてきました。いまだに完全に解決するのはまだ難しいと思いますが、以前よりだいぶ良くなったと思いました。

2. 反日感情に関する現状。

マス・メディアは反日感情を大きく報道しましたが、実際には必ずしもそうではありません。中国の近代化は日本と違って、受動的に世界の近代に巻き込まれたものどとは一般的な認識です。とくに広い大陸の中国半分以上の地域に到達したのは日本人以外にはいませんでした。中国近代国家の完成はその上に出来上がったのです。そのため、日本が近代中国に対する影響は大きかったです。そのため、一般民衆の頭の中でも日本の存在感が大きかったです。それは日本とほかの国との違いの一つであると考えます。中国全体の教育水準、教育方式の影響で、ナショナリズム感情を引き起こすことは簡単です。それは社会問題と結び合わせ、野次馬が民衆を扇動すると共に、大きなトラブルが起きることとなりました。実際に教養がある知識人や善良な民間人は、日本人に好意を持っていることは一

般的だと考えます。

3. 医療負担および医療保険制度。

1980年代の市場経済の導入とともに、従来の医療制度は大きく変わってきました。医療設備、医療施設は大都市に集中しています。また医療も市場経済に影響され、医療産品も完全に商品化しました。人も所属、勤め先によって医療補助もそれぞれ違います。ハイランクの官僚、公務員、教師、国有企業の従業員、民間企業の従業員、外資企業の従業員などそれぞれ違ってきます。その中に、まったく医療補助を受け取れなく、すべての医療費用を自費負担する人もいます。高額な医療費の負担に耐えられなく悲惨な事件がいくつか起こりました。また医者が患者に対し高額請求する例もよくありました。政府もこれらの問題を意識し、さまざまな措置を講じています。近年作られた新型農村合作医療制度はその一つです。近年、全国の農村に普及しました。膨大な治療費をかかえる病気に対する、一定の助成金を補助します。医療福祉システムは、まだ十分とは言えませんが、以前よりだいぶ良くなったと考えます。

4. 中国リスクに関すること。

シャドーバンキングの理財商品の問題に関して、李克強総理の「個別のデフォルトは避けられない」の発言はリスクを警戒する以外に、リスクを控える能力があると考えます。現在の中国政府は世界中に最も財力がある政府です。山西省の状況からみると、ほとんどの大手企業は国有企業です。デフォルト懸念となった民営企業の「聯盛エネルギー集団」は山西省全体にとって重要な企業とは言えません。また山西省政府も現在不動産投資や観光開発を通じて、石炭依存の脱却を検討し続けています。それらの点からみると、単なる民営石炭企業である「聯盛エネルギー集団」は中国全国の経済危機に繋がる可能性は小さいと考えます。経済危機以外に中国はまた民族、宗教、人々の訴求に繋がる社会問題があると考えます。特に不動産価格の高騰は現在の主な中国経済リスクとなっています。中国特有の市場経済システムによって経済と政治は緊密に結びついています。安定した政治システムさえあれば、経済危機が発生する可能性は低いと考えます。また中国国内から見れば安定した政治中心があり、政治システムを変える政治変動の兆しはいまだに見えていません。そのため、中国リスクを引き起こすドミノのような動きはまだ至っていないのではないかと考えます。また中国人のリスクに対する考えは、日本人と違います。一般に生活面も、経済活動の面がよく見られます。それは高度成長とともに持たされた意識です。すこし楽観的かもしれない、日本マス・メディアが紹介したようなリスクはまだなっていないのではないかと考えます。

点 鐘

パストガバナーからの手紙 170回

古代史探訪その6 知事偽造公印と「漢委奴國王」の金印

炭谷 亮一

先日北國新聞社主催の「第70回北國写真展」で、事務局が富山県知事賞を出すのに知事公印を偽造し賞状を送っていたことが判明した。どうやら私の見るところ、昔から今日に至るまで公印の偽造はたびたび行われている様である。知事公印偽造の目的はたしかに存在した。

さて本題の「漢委奴國王」の5文字の印は教科書に弥生時代の実物の写真とともに表記されている。この国宝の「金印」に関して、「後漢書」東夷伝の中で、倭奴国（福岡県地方にあった）からの朝貢の使者に「光武帝」が印綬（金印とは書かれていない）を贈ったとする記述があった。

さてこの「金印」は江戸時代1784年に福岡県（当時は黒田藩）の志賀島で発見された。「金印」は島の農民甚平衛が田の側溝を削っていた際に発見した様だ。約1700年の時を経て「金印」が発見されるなんて、何んて素晴らしい古代の発見なのかと、高校生であった私は教科書の記述に限りない時空のロマンを感じたものだった。今日の私は年齢を重ね、少しは世の中のことも分かり、素直に信ずることは出来ず、むしろ上記は嘘っぱち、偽造、贋作、真っ赤なニセモノ説を支持している。その理由をこれから検証の中で指摘してみよう。

まず単純に考えてこの様に貴重な「光武帝」から下賜された「金印」が、なぜ田の中から発見されたかという問題が存在する。「金印」の多くは中国や朝鮮で盗掘を逃れた古墳から発見されるケースがほとんどで、日本の様に大切に扱われず放棄された様な状況での発見は珍しい。従って1人の農民が田の中から発見したなど全くのウソだと思う。事実甚平衛なる人物は調査しても確認出来ない。虚偽と考えてよい。

中国漢代において皇帝が、国内外の朝貢者等に与える「印綬」に一定の基準つまり「印制」があった。諸侯には黄金で「らくだ」のつまみの付いた2.3×2.3×2.3cmの「金印」、ただし列侯のつまみは「亀」、将軍のつまみは「虎」、蛮夷（もちろん日本も含まれる）のつまみは「蛇」であった。皇帝から高句麗へ下賜された王印はみな全て「銅印」であった。従って蛮夷である「倭国」に下賜された「金印」など存在するはずがなく、偶然が重なり何兆分の一の確率で発見された「漢委奴國王」の印は本当は銅製でなくてはならない。

あの日清戦争の清時代の中国の学者、楊守敬が著した「漢委奴國王印考」の中で、当時の後漢は倭をもって東方の大国と見なし他の蛮夷と同等視せず、倭の印材を諸侯並みに黄金とし、つまみだけ蛇にして諸侯印と区別した為だと弁明しているが、約1800年前の事柄を清時代になってわざわざ弁明するのは不自然で、日本側のどうしても金印の証拠固めや理論武装したい人々の依頼で、虚偽の論文を金銭を得て書いたと見るのが妥当である。

さてここから肝心要の本論に入ろう。金印は発見直後から明治に入ってから、又戦前の国宝指定時にも、更には

戦後の国宝の再検証時にもたびたび贋作説が囁かれ、明解に贋作と主張する専門家（審査員）の存在があった。しかし実はダレが何の為に贋作作りをしたのか目的、動機（モチベーション）が判明しなかった。つまり売買目的ではなさそうだし、それ以外に考えられるのは、今日時々ある「愉快犯」があるが、豊かでない江戸時代にダレが手間暇かけて大金まで使ってどんなメリットがあるのだと言う意見が大勢を占め、金印は真作であり現在では国宝たるもの一切疑ってはならぬと言う風潮すら感じられる。

2006年三浦佑之千葉大教授（当時）が著作「金印偽造事件」（幻冬舎）の中で、贋作作りの目的、動機を見事解明した。三浦教授は金印発見当時の周辺調査を詳細に行った結果、第1発見者の農民甚平衛（架空）が知人の福岡の豪商、米屋才蔵に鑑定依頼したところ大変重要なものだと分かり、その噂を聞いた庄屋から役所に提出せよと厳命され、郡奉行の津田源次郎に差し出した。この金印を当時黒田藩の儒学者で藩校・甘堂館の館主だった亀井南冥が鑑定した結果、光武帝から下賜された金印と断定した。ところが三浦教授は当時の文献や書簡等から米屋才蔵、郡奉行の津田源次郎そして藩校館主の亀井南冥の三人は親しい間柄で、当時黒田藩は東西に「修猷館」と「甘堂館」を同時に二校開校したばかりであり、「甘堂館」の館主として上記の亀井南冥が民間から登用された。もちろん二者の藩校間ですさまじいライバル意識が存在したことは容易に想像出来る。そこで三者は計ってライバル「修猷館」を出し抜き、亀井南冥の名声を上げる為「金印」を偽造し、本物に見せかけ、その上三者三様に利益になると考察し、論理を展開している。

この説を補完する「印」面の研究が存在する。2011年「漢委奴國王」金印・誕生時空論（雄山閣）鈴木勉著（工芸文化研究所・早大客員研究員）が出版されており、その中で「金印」をモノとして研究し、今まで誰も証明して来なかった、つまり“いつ”“どこで”“どの様な技術で作られたのか”論証を試みている。その中で1980年に中国で決定的な発見があった。それは西暦58年に光武帝の子に贈られた「廣陵王璽」と言う、西暦57年に作られた「漢委奴國王」とそっくりの金印が発見された。しかも同一工房での作成に違いないとされ、これにより「漢委奴國王」の金印も本物に間違いないと断定され、教科書にも事実として記載されることになった。しかし鈴木氏の検証の結果、今まで同一工房で作られたとされていたが、「廣陵王璽」の印面は新しい線彫りであり、「漢委奴國王」の方は伝統的なざらい彫りであり、同時期の同一工房の作品とはとても言えない程、技術的な違いがあると検証している。更には「漢委奴國王」の金印の技法はむしろ江戸時代の印章との近似性が強いと主張している。

私なりの考察だが、亀井南冥一派の試みは当時から現在でも見事成功したかに見える。そして蛮夷の倭国への印は「銅印」が原則であることは重々承知していたが、「金印」と「銅印」では世間に与えるインパクトが違う、どうせやるなら「金印」にしよう、世の中の大半の無知文盲の連中には解りやしない、まあバレたところで「誰がこんなバカをやったんでしょうね？」ととぼけりゃそれでおしまい、と考えていたと思う。そして今でも墓場の陰で三人ともニンマリしている。私としては文科省に注文をつけたい。せめて国宝だけでも疑惑の案件には更なる再調査、検証が必要と思うが、いかに？

東京世田谷中央 RC 社会奉仕事業 いきいきライフセミナーに参加して 炭谷 亮一

3月8日（土）に我々の友好クラブである東京世田谷中央 RC の社会奉仕委員会主催の区民公開講座が、駒沢大学で「平家物語 祇園精舎の鐘の聲 その先にあるもの」というテーマで、世田谷区に在住されている区民の方 200名を対象に行われました。私も「平家物語」に興味がある為、特別に参加させていただきました。会場は超満員でした。メインは駒沢大学教授の桜井陽子先生の滅び行く平家一門への我々日本人が感じる美意識に触れながら、価値の高い敗者の文学について約1時間講演がありました。続いて坂田美子様（恵比寿 RC 会員）さんから、3年前に我々百万石が主催したロータリーキャンペーン「END POLIO NOW」の金沢城でのイルミネーションの素晴らしさに感動されたとお話に恐縮しつつも満足感に酔いしました（多分お酒との相乗効果で）。また女優の若村麻由美さん（15年前に金沢で平家物語を語る会で一度お会いしたことがある）と再会して、変わらぬ若さ（多分現在は40歳は過ぎている）、飛び抜けた美しさ、そして私を魅了するキラキラ輝く瞳に、ひょっとして永遠の美は存在するのではないかとさえ思いました。さらに琵琶の弾き語りをされた坂田美子さんのお兄さんが金沢美大の漆工芸の山村教授とのこと驚きました。そして桜井陽子教授には私の平家物語に対する熱い思いを辛抱強くお聞きいただき感謝に耐えられません。人気アイドルグループ「嵐」の桜井君はご息息とのこと、思わずソファーから滑り落ちそうになるくらい驚きました。世田谷の会員の皆様からの再来年の20周年には百万石から是非大挙して参加して下さいとの要請がありました。帰り六本木ヒルズの出口に迷いながら、ロータリークラブは数の力ではない、個々人の実力だと思われ、わずか16名の会員の世田谷の秀逸な企画に感服しました。

お知らせ

金沢北 RC 「祝桜会」 合同例会のご案内

日頃はクラブ運営にご協力いただき、ありがとうございます。さて4/10の例会ですが、親クラブである金沢北 RC からの誘いもあり、「祝桜会」合同例会を下記の通り開催いたします。ご家族もご同伴で、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

